





# 阿仁川橋(仮橋)四度目の流失

## もつと丈夫な橋をの声高まる

阿仁川橋の仮橋がまた流失された。去る十四、十五日の二日間降り続いた雨で阿仁川がはららんし九月の水害でかけ替えたばかりの阿仁川橋仮橋がまたまた流失県のお座なりな橋梁行政に批判の声がこぼれている。

老朽した阿仁川橋が一部立つてきたこの仮橋もついだが、この渡船はまた小型落下したのは昨年の六月二日に自然の力には抗しきれず、九月九日には転覆事故まで発生を重ねて重量制限などの措置も無様に流失、町当局では「今少し強固なものを」と関係当局に要請したが復旧もこれになり昨秋ついに解体し仮橋をかけた。

仮橋とはいふもののまったくチヤチヤなもので橋とは名ばかりのお粗末なもの、橋脚は水面からわずか二尺位しかなく巾員も二米あるかなしで小型の車がやつと徐行して通れる程度のものであった。

ちよつと雨が降るたびに足もとまで濁流にさらされながら多くの通行者の役に

たまたまこの日の正午ごろ折柄工事の始まった阿仁川橋永久橋の起工式には小畑県知事が来町したので現場も視察してもらい、また鳥山町長からも「丈夫な仮橋をかけてほしい……」と陳情がなされたが、その後県でかけた仮橋はやはり以前と同程度のものしか出来なかつた。こうなつてくる利用者や付近住民のなか



現場に上水面にわすれずだけ橋脚の鉄塔は工事現場

には「こんど流れるのはいい失を見たわけだが『この調子で皮肉すらとび出す始末で、せつなくがんばつた町関係者を苦笑させたりしたこともあつた。』」とある。九月の大水害から一カ月の間に四度目の流失も経たない十四、十五日の降雨でついに四度目の流失者のいうとおり、こんど

「早くみつけて早く消す!!」

十月四日から秋の火災予防運動週間

そろそろ火が恋しい頃と防火行事が繰りひろげられてきたが、それは火災を予防することになり、本年はとくに主唱事項として早期発見と初期防火の徹底をとりあげることに、このモットーとして「早くみつけて早く消す!!」の標語をとりあげ広く一般に火災予防を呼びかけることになつてゐる。

火災四七件、煙突四七件、電気関係二七件、炉火二七件、こたつ二五件、ストーブ二二件、かまど一九件、放火一八件、こんろ一七件、風呂場一五件、取灰不始末一四件

があげられているが、県ではこんど十一月四日から十日までの一週間を「秋の火くゴミをとつて保存し、災害予防運動週間」として全県下いっせいに防火週間を実施することを一般の協力をお願いしている。

この期間中は県をはじめ各市町村などいろいろな

「生活のしおり」

夏物は手入れして

まだ夏物の手入れをすまなうという方は空気の乾燥して日を選んで干し、よらうとこのほどその第一回分として東地区婦人会で集めたボロ切れをとりまて町社協の手を通じて秋田市の製綿所へ送付した。こんど送つた分は二十七梱包約三〇〇キログラム

「写真」ボロ切れの荷造り

トッブは木戸石

二十日現在の共同募金成績

赤い羽根の名で親しまれてきた共同募金運動は去る十月一日より三十一日までの一カ月間を募金期間と定めて各地で活発な運動が展開されているが、本町の場合は運動開始が種々の事情で郡内の他町村に若干おくれたにもかかわらず去る十一月一日に募金目標額一〇〇%（二二、九一〇円）を完成した木戸石部落をトッブに目標額を完成した部落が五つもあり関係者を感激させている。

二十日現在町の共同募金会にまわつた実績は次のとおりとなつてゐる。

- 木戸石部落 (一〇〇%)
- 川井部落 (一〇〇%)
- 摩当部落 (一〇〇%)
- 雪田部落 (一〇〇%)
- 芹沢部落 (一〇〇%)
- 全額完成の見込みである。

◇ 姑と嫁の仲は

誰が悪くしたか

日本の歴史は徳川三百年の鎖国政策から国内の治安は生れたが、それはあらゆることに於いて庶民の生活を規制化してしまつた。

姑の嫁の仲はそれ以前から歴史に現在のようなこととは異なる。家族主義の欠点、それは姑と嫁の関係であり封建主義の基本として姑と嫁の勢力を二分してしまつて家庭の力を制限する方法なのである。

姑に嫁が重なるにつれて服従することは、その家の勢力の台頭を防止することなのである。民主主義社会となつてからも美風として礼儀としてそれは日本的な良さとして衆目は同感してゐるが、私の考えでは積極的な姑と嫁の共同戦線が必要であると感じてゐる。

今、公民館あるいは婦人会の活動部門において姑と嫁の関係をテーマに種々討

議してゐるようであるが、それを乗り越えての共同戦線の確立が必要なのである。この家も『良い家庭』とされているのは嫁が良い場合からであり、姑が良い場合は姑が嫁に遠慮してゐるから……という場合が多いようである。これは家の力を分散してゐるわけである。『良い家庭』すなわち現状維持派ともいえるわけである。

もちろん、毎日風波が絶えない家庭よりは実に立派であるが、さらにはこの姑と嫁の力を合せたならば優に一〇師団の兵力を備えたことになり、またどちらか

◇ 子供に關して

私達は父祖の苦労をしのびながら現代の生活がだんだん合理的になり労働条件も楽になつてきてゐることは有難いと思つてゐるが、しかし歴史は、農民の生活を旧地主階級の生活にするよう逆行してはならないであらう。無計画な慾しがり方は批判されるべきであると思つてゐる。合理的に『物』を用意する。合理的な『物』を用意することは合理的な『精神』に由来するわけである。

農村では旧来の在り方として長男優先的な子供の育て方をとつてきた。今ではこの育て方も大分変わったが、まだそれは当然のあり方として認められてきたものであつた。

しかしながら私達には子



新しい生活(二) 鳥山義郎

「集める」と「集まる」

はたつた一字の違いであるが根本から意味が異なるわけである。

そして、偉い人から話をきくことも大切であるが、この偉い人の話を右の耳か左の耳へ通過させるより、自分が発意して周囲の人々と意見を交換し、良いこ

「集める」と「集まる」

はたつた一字の違いであるが根本から意味が異なるわけである。

そして、偉い人から話をきくことも大切であるが、この偉い人の話を右の耳か左の耳へ通過させるより、自分が発意して周囲の人々と意見を交換し、良いこ

「夜具は日光消毒を

天気のよい日は夜具を出して日光消毒を行いましよ。これからは日が短くなりますから今のうちに実行したいものです。

町連合婦人会 (会長 工藤イマさん) として町内各戸からボロ切れの拠出を願ひ、これを綿(わた)に製品(わた)に製成(わた)し、各地の養老院で淋しく余生を送つてゐる老人たちに贈り温かい冬を過して

【写真】ボロ切れの荷造り

役場で写す

